

【家庭用蓄電池 | 利用者アンケート調査レポート】

本レポートは、家庭用蓄電池の「売電価格の問題」に関する利用者アンケートを基に、多角的な視点で分析しまとめたものです。

以下はアンケート調査の結果とその概要です。

アンケート調査目的	売電価格に関する調査
アンケート対象者	家庭用蓄電池の利用者
アンケート方法	クラウドワークス
アンケート調査人数	30名
アンケート実施日	2026年1月9日
アンケート調査地域	日本

■ 回答者属性

- 性別

- ・女性: 50%
- ・男性: 50%

- 年代

- ・20代: 10%
- ・30代: 40%
- ・40代: 33%
- ・50代: 17%
- ・60代以上: 0%

- お住まいの地域

- ・愛知: 13%
- ・大阪: 13%
- ・東京: 10%
- ・福岡: 10%
- ・京都: 7%
- ・兵庫: 7%
- ・北海道: 3%
- ・宮城: 3%
- ・茨城: 3%
- ・群馬: 3%
- ・埼玉: 3%
- ・千葉: 3%
- ・神奈川: 3%
- ・富山: 3%
- ・岐阜: 3%

- ・滋賀:3%
- ・広島:3%
- ・長崎:3%

■ 売電価格に関する具体的な感想

※以下、回答全文

・売電価格については、正直なところ以前よりも下がっている印象があり、売って大きな利益を出すというよりは補助的な位置づけだと感じています。

・昔ほど売れなくなってきているので、自分で使ったほうが良いような気がします。

・FITの売電価格が年々下がっているため、売るよりも自家消費したほうが得だと感じています。

・売電収入は以前より減りましたが、その分電気代が下がっているので、総合的には満足しています。

・現在の売電価格は低めで、単純に売るよりも自家消費に回す方が経済的だと感じます。

・売電価格は下がっており、発電した電力のほとんどを売っても経済的メリットは薄いと感じています。

・売電はできますが、浮かせるのはお小遣い程度だと思っていたほうが良いです。

・売電価格が昔より下がっているので、今は売るよりも自家消費したほうが得だという印象です。

・発電した電気をなるべく多く売電に回す設定にしていたのですが、単価が下がった現在ではメリットが少なくなってきたと感じています。

・売電収益だけで初期費用を回収するのは難しいと感じています。

・売電はスズメの涙ほどなので、そもそも大きな期待はしていませんでした。

・売電よりも、自宅で使って電気代を削減する方が現実的だと思います。

・売電価格が下がったことで、売電を目的とした導入メリットはほぼ感じなくなりました。

・売電はできるものの、家計への貢献度は限定的だと感じています。

・現在は売電よりも、自家消費を前提にした運用が現実的だと感じています。

■ 総括

売電価格については、FIT単価の低下を背景に「以前より下がった」「利益は限定的」と感じる声が多く見られました。

売電収益による回収は期待しづらく、発電した電力は売るよりも自家消費に回す方が現実的だという認識が主流となっています。現在は売電より電気代削減を重視した運用が定着している点
が特徴です。

制作:ハピネスマガジン